



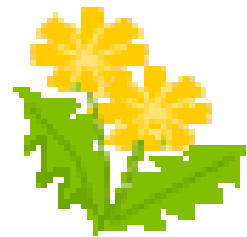
東北大学病院精神科 **SAFE クリニック** <http://safe-youthcentre.jp> では、若者の精神障害の予防に向けた活動を行っています。今回は、若者がかかる可能性のある精神病をテーマに取り上げてみました。紙面についてのご感想やご質問などは、info@safe-youthcentre.jp までお寄せください。

精神病は若者がかかる病気です。少し、勉強してみませんか？



Q1. 「精神疾患」と「精神病」は同じ意味ですか？

「精神疾患」という場合は、精神科で治療が必要となる精神科の疾患すべてについての総称です。例えば、うつ病、双極性障害、統合失調症、パニック障害、社交不安障害、摂食障害、強迫性障害、適応障害、アルコール依存症などが含まれます。一方、「精神病」は、幻覚、妄想、まとまらない会話や行動、などの症状のいずれかが出現し、現実がうまく認識できなくなっている精神疾患です。精神病には、統合失調症、妄想性障害、短期精神病性障害などが含まれます。



Q2. 「こころのリスク状態」とは、何のリスクですか？

こころのリスク状態は、精神病リスク症候群などと言われる通り、精神病になるリスクが高い状態です。被害妄想みたいな症状や幻覚のような症状が、時々出てくるようになります。リスクのうちに治療すると、かなりの人が回復します。



Q3. 精神病はいつ頃になりやすいのですか？

精神病は、30 人に 1 人がなる精神疾患で、多くは 10 代から 20 代で発病します。しかし、病気のはじめの時期は症状が軽いため、単なる不登校、保健室通い、軽いうつ、思春期の悩み、性格の問題などと勘違いされることも多くあります。自分でも病気だと気づかないため、多くの人は、病気の徴候が出始めてから数年して、悪化してから治療が開始されます。



Q4. 精神病の早期介入はどうして大切なのですか？

多くの体の病気と同じように、心の病気も早期発見・早期治療が大切なことが分かってきました。特に精神病は、若い人がかかる病気で、慢性化することもしばしばです。早く見つけて、早くに治療することで、より病気が回復しやすくなることが期待されています。



SAFE クリニックのご案内

SAFE クリニック(こころのリスク外来&早期支援外来)では、まとまらない言動や行動、軽い妄想、軽い幻覚など、精神症(精神病)の徴候がある 14 歳から 35 歳までの若者の専門治療を行っています。不登校、抑うつ、対人過敏、落ち着きなさなどの形で症状が出てくることもあります。

診療の予約やご相談については 022-717-7737 あるいは info@safe-youthcentre.jp までご連絡ください。簡単にお話をお聞かせいただき、必要な予約をとらせていただきます(同封のパンフレットをご活用ください)。また、若者のこころの病気についての啓発活動、専門研修などのご相談もお引き受けしています。